

Contemporary Photonics Technology (CPT) 2005

発表者: 安本光浩、宮本大輔

1. 会議の概要

- 名称:
Contemporary Photonics Technology (CPT) 2005
- 主催/共催機関:
National Institute of Information and Communications Technology, CS/IEICE, JSAP, IEEE/LEOS Japan Chapter, IEEE/MTTS Japan Chapter, IEEE/ ComSoc Japan Chapter, SCAT, OITDA, OSA and IEEE/LEOS
- 開催場所:
泉ガーデンギャラリー (Tokyo)
- 日時:
12-14 JAN 2005
- 発表件数: Oral 35件、Poster 39件、PD (for students) 7件
 - Oral: 35件
 - Poster: 39件 (2件のPost-Deadlineを含む)
 - PD(for students): 7件
- 歴史・スコープ: 今年で第8回目を迎えたCPTは1998年から日本で毎年開催されており、急速に発展する光技術のデバイス、システム研究に関して情報を提供する機会となっている。
今年「光デバイス・システムの新領域」をテーマとしている。

2. 発表内容

- 安本光浩 (Mitsuhiro Yasumoto)
Title: Design of an arrayed-waveguide grating with wavefront compensation lenses in a slab waveguide for hybrid integration”(Poster session)
Abstract: We have designed an arrayed-waveguide grating(AWG) with a flat output wavefront; by introducing a lens system in a slab waveguide. This additional function will enable us to integrate a spatial light modulator.
- 宮本大輔 (Daisuke Miyamoto)
Title:
Abstract:

3. 会議発表の感想

- 国内で開催される国際会議を数回聴講した事があり、流れや雰囲気には慣れていたつもりでしたが、自分の研究を対外発表するとなると多少緊張しました。また、専門的な単語詰まってしまう、決して円滑なコミュニケーションが取れたとは言い難い状況でした。この失敗を次に生かしたいと思います。
発表内容に対する質問では、意外にもデバイス自体に関する質問ではなく、「集積する空間変調フィルタにはどのようなものを使うのか」といった応用に関する事を数多く質問されました。
このような発表の機会、他人に自分の考えていることを的確に伝えるための絶好の訓練となると思っていますので、今回は学ぶことが多かったと思います。他の会議でも発表できるよう、研究を進めていきたいと思ひます。(安本)
- (宮本)